



健康なからだは健康な食べものから。
健康な食べものは健康な土から。

町では、多くの方に「小野町産「ミネラル野菜」を知っていた

だくため、各種イベントにおいて直売所によるミネラル野菜の対面販売やパンフレットによる説明などを行いながら、消費拡大や風評被害払しょくのためのPR活動を行っています。

7月20日に小野運動公園で開かれた「福島フォークジャンボリー in 小野」や8月9日に東京都荒川区で開かれた「がんばってます！福島」の会場では「インゲン」を、10月18日・19日に郡山市で開かれた「市民ふれあいフェスティバル」や11月3日に横浜市戸塚区で開かれた「YMCAい〜とつか祭」の会場では、特産品や野菜などを購入していただいた方などにエコバッグやパンフレットと一緒に「トマト」を配布しました。受け取っていただいた方からは「どこで買えるの」などの声が多く聞かれました。



また首都圏での農産物のPRイベントでは、ふるさと小野町会の方々にも来場していただき、PR活動にご協力いただきました。今後も各種イベントで「小野町産ミネラル野菜」を県内外に発信するためのPR活動をしていきます。

1_フォークジャンボリーの会場
2_来場者がふも
3_会場にぎわっています！福島では、ふるさと小野町会の方(左)に
応援いただきました



今後の農産物PRについて

◆場所

日本橋ふくしま館M1
DETTE(東京都中央区
日本橋室町4-3-16柳
屋 太平洋ビル1階)

◆日にち

平成27年1月31日(土)か
ら2月2日(月)まで

※時間は、日本橋ふくしま館M1DETTEの営業時間

◆内容

- ・小野町産農産物のPR
- ・6次化商品黒にんにくの販売
- ・小野町商工会青年部によるアイスバーガーの販売

給食 米粉パン



始まりました

町では、初めてとなる「米粉パン」が11月25日の学校給食で提供されました。

学校給食は、週に3回米飯給食を行っています。平成26年度から米粉の活用を推進しており、町内で生産された26年産ひとめぼれの米粉ができたことから、現在、問題となっている米の消費減少を解決するきっかけとするため、小中学生の皆さんに食べていただきました。

また浮金小学校では、全校児童と町長、副町長、教育長、米粉生産者である吉田政美さん、給食センターの主任栄養技師である志賀敦子さん、福島県中農林事務所の壽田智久さんが参加し「米粉パン」や町内産牛肉と黒にんにくを使った「ビーフシチュー」の試食会が行われました。

吉田政美さん、志賀敦子さんから米粉の生産や給食の内容について